

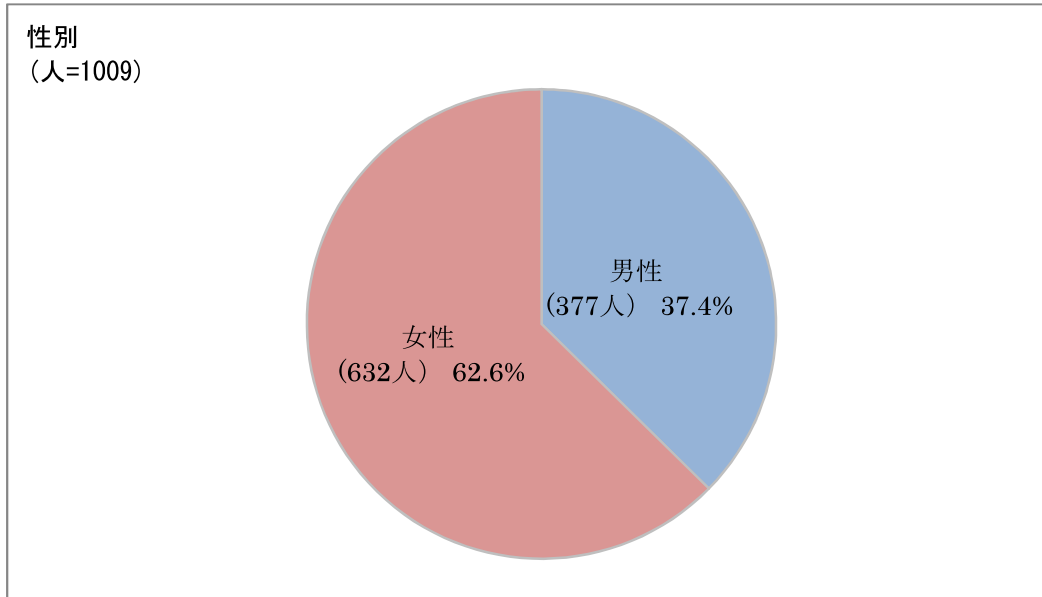
成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

第 89 回のテーマは「成田市総合保健福祉計画に関するアンケート」でした。

配信者数:1,414 人

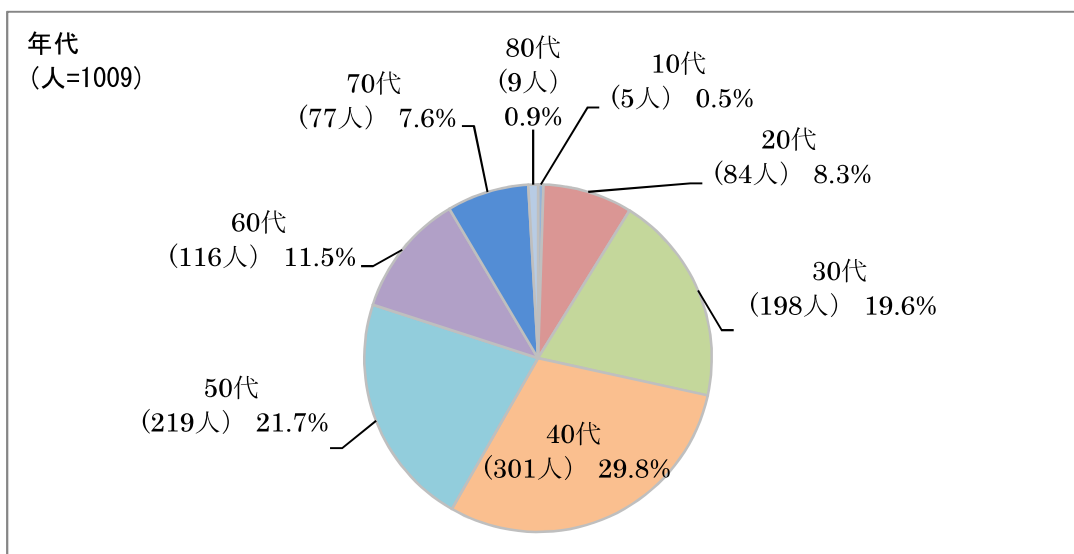
実施期間:令和 5 年 5 月 12 日(金)~5 月 22 日(月)

回答者数(回答率):1,009 人(71.35%)



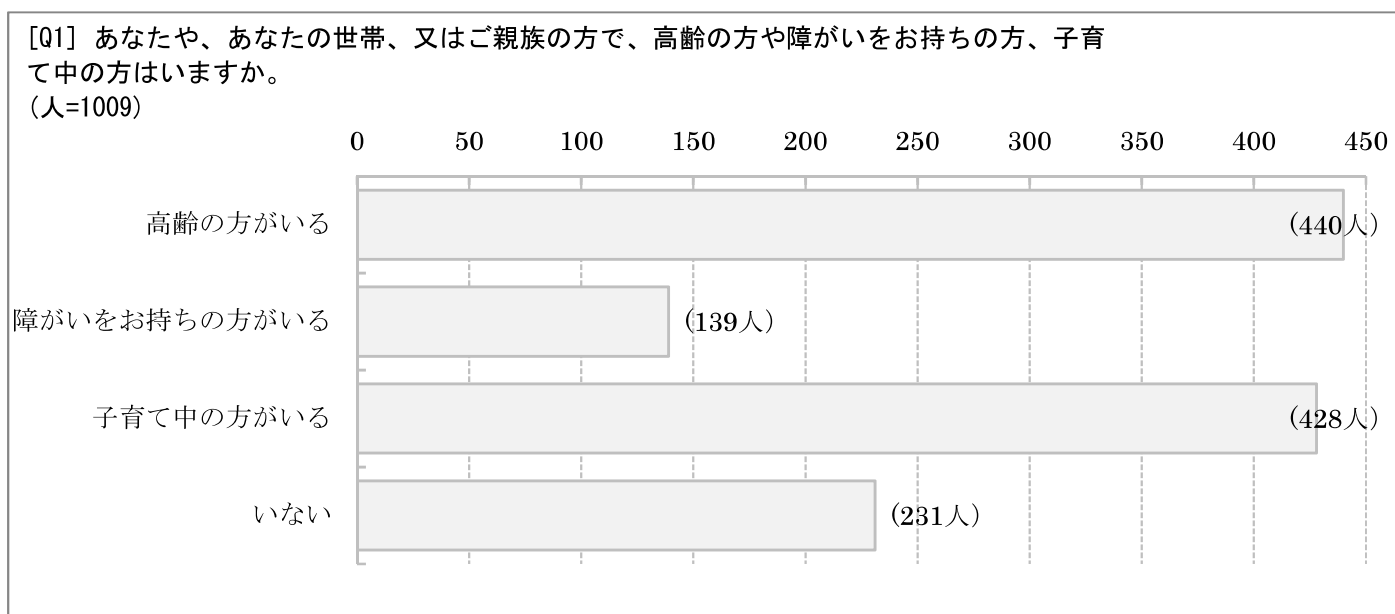
| 単一回答 | 人 | % |
|------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 男性 | 377 | 37.4 |
| 2 女性 | 632 | 62.6 |

登録者 (1,414 人) の内、全体の 71.35%にあたる 1,009 人からご回答をいただきました。男女比は、男性 377 人、女性 632 人となっており、女性の方により多くご回答いただいています。



| 単一回答 | 人 | % |
|-------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 2 10代 | 5 | 0.5 |
| 3 20代 | 84 | 8.3 |
| 4 30代 | 198 | 19.6 |
| 5 40代 | 301 | 29.8 |
| 6 50代 | 219 | 21.7 |
| 7 60代 | 116 | 11.5 |
| 8 70代 | 77 | 7.6 |
| 9 80代 | 9 | 0.9 |

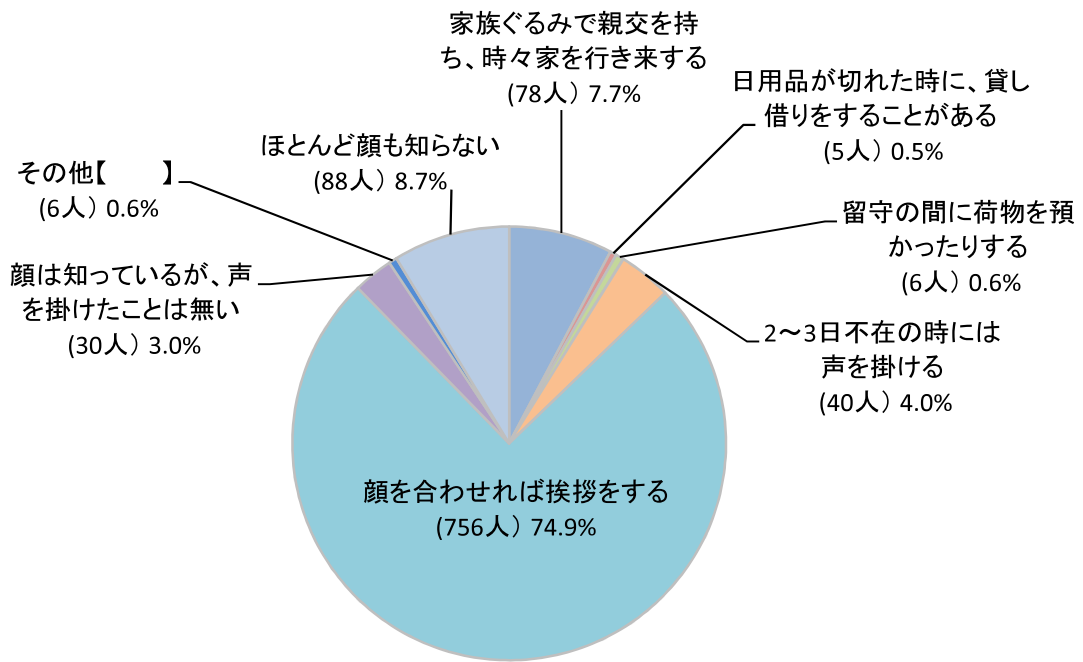
ご回答いただいた方のご年齢は、40代の方が301人(29.8%)、50代の方が219人(21.7%)、30代の方が198人(19.6%)で、合計すると全体の7割超となっていますが、60代が116人(11.5%)、20代が84人(8.3%)、70代が77人(7.6%)など、幅広いご年齢の方からご回答をいただきました。



| 複数回答 | 人 | % |
|----------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 高齢の方がいる | 440 | 43.6 |
| 2 障がいをお持ちの方がいる | 139 | 13.8 |
| 3 子育て中の方がいる | 428 | 42.4 |
| 4 いない | 231 | 22.9 |

ご家族やご親族に高齢の方がいる割合が440人(43.6%)、子育て中の方も428人(42.4%)と高く、福祉施策と関わりのある方から、多くの回答をいただいていることが分かります。

[Q2] あなたは、普段ご近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。
(人=1009)



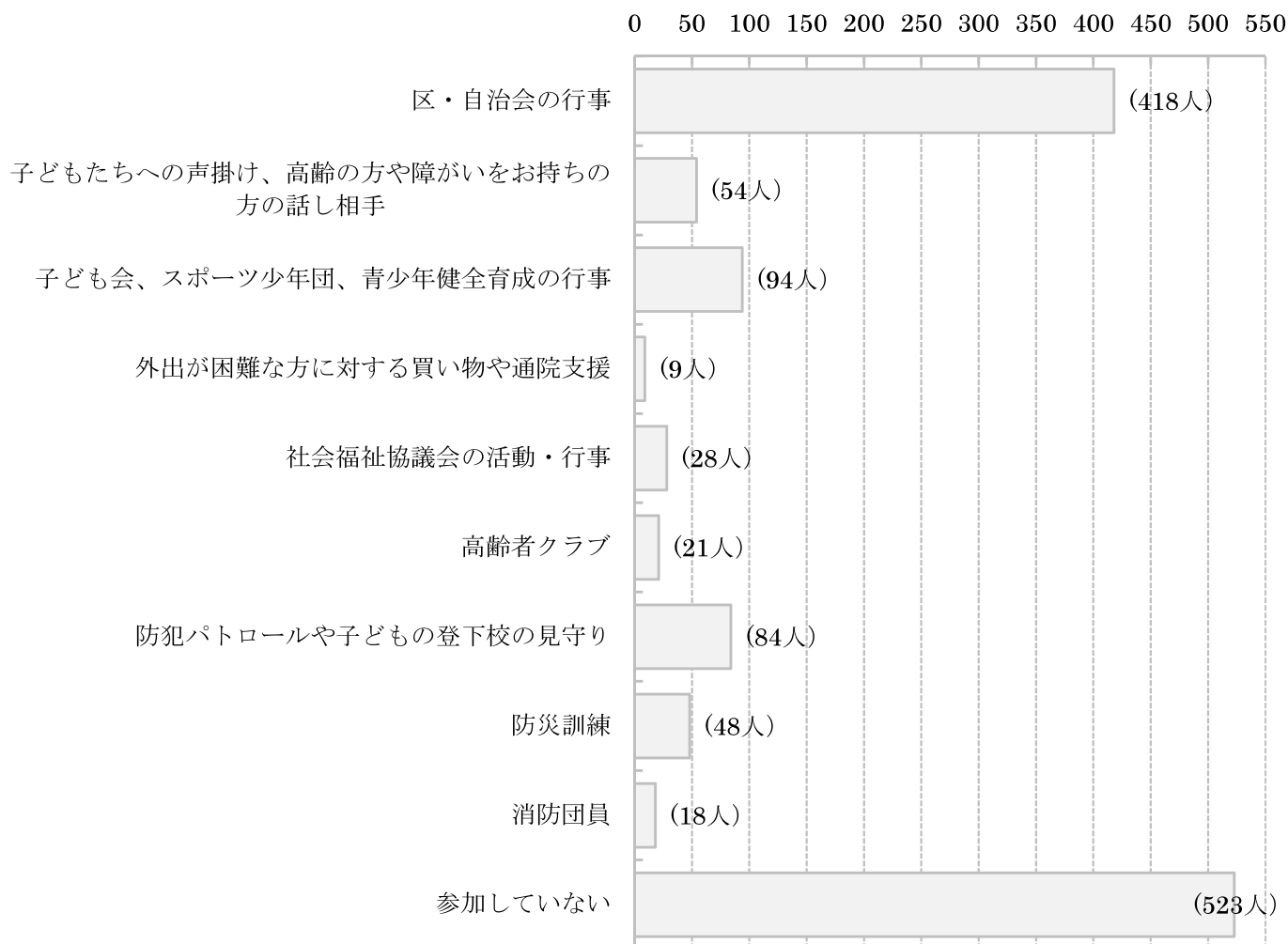
| 単一回答 | 人 | % |
|--------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 家族ぐるみで親交を持ち、時々家を行き来する | 78 | 7.7 |
| 2 日用品が切れた時に、貸し借りをすることがある | 5 | 0.5 |
| 3 留守の間に荷物を預かったりする | 6 | 0.6 |
| 4 2~3日不在の時には声を掛ける | 40 | 4.0 |
| 5 顔を合わせれば挨拶をする | 756 | 74.9 |
| 6 顔は知っているが、声を掛けたことは無い | 30 | 3.0 |
| 7 その他【 】 | 6 | 0.6 |
| 8 ほとんど顔も知らない | 88 | 8.7 |

「顔を合わせれば挨拶をする」と答えた方が756人で、全体の3/4を占めていることが分かります。その他と
していただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- 周りに住宅がない
- 野菜のお裾分けをする
- 顔をあわせると挨拶し、世間話をする。また、たくさんの頂き物
- 顔はおぼろげ、視界に入ったら挨拶だけする
- 一緒に遊ぶ、子から数分目を離すときに見ておいてもらう
- 常に挨拶を交わし、世間話をし、留守の時には声を掛け合っている。

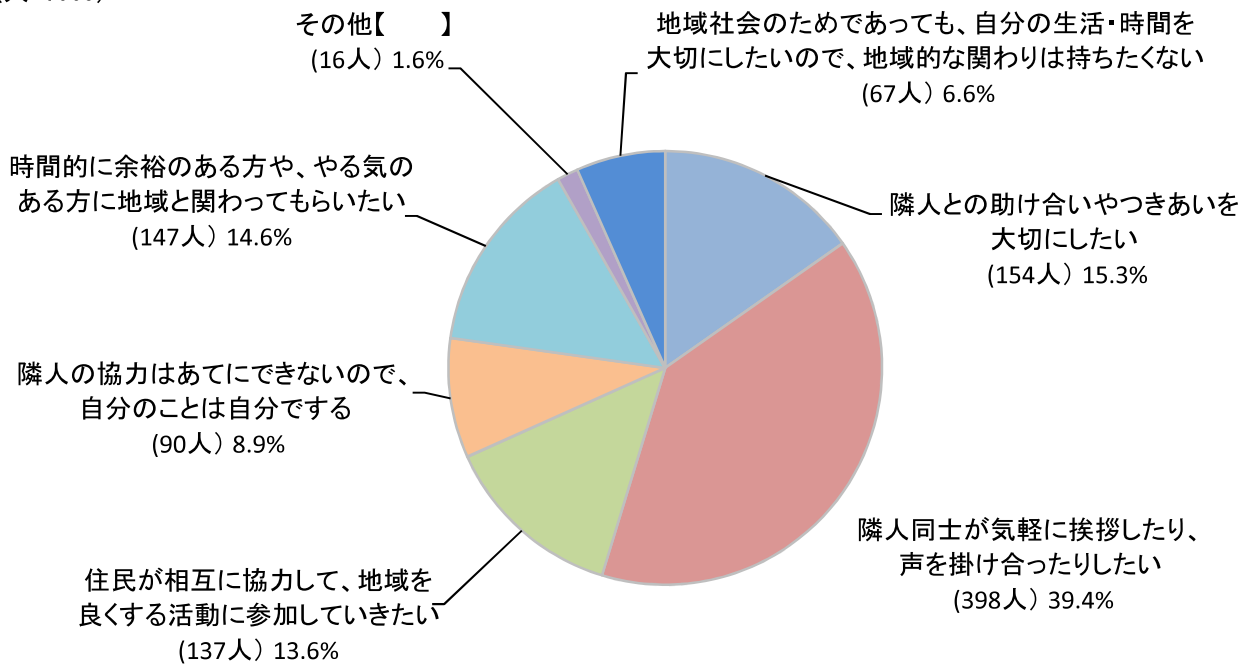
[Q3] あなたは、地域の活動に参加していますか。
(人=1009)



| 複数回答 | 人 | % |
|----------------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 区・自治会の行事 | 418 | 41.4 |
| 2 子どもたちへの声掛け、高齢の方や障がいをお持ちの方の話し相手 | 54 | 5.4 |
| 3 子ども会、スポーツ少年団、青少年健全育成の行事 | 94 | 9.3 |
| 4 外出が困難な方に対する買い物や通院支援 | 9 | 0.9 |
| 5 社会福祉協議会の活動・行事 | 28 | 2.8 |
| 6 高齢者クラブ | 21 | 2.1 |
| 7 防犯パトロールや子どもの登下校の見守り | 84 | 8.3 |
| 8 防災訓練 | 48 | 4.8 |
| 9 消防団員 | 18 | 1.8 |
| 10 参加していない | 523 | 51.8 |

地域の活動に「参加していない」と答えた方が523人で、全体の半数を超えています。次いで多いのは、「区・自治会の行事」の418人（41.4%）ですが、その他の地域活動への参加は1割以下に留まっています。

[Q4] 地域における人とのつきあいや地域とのかかわりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(人=1009)



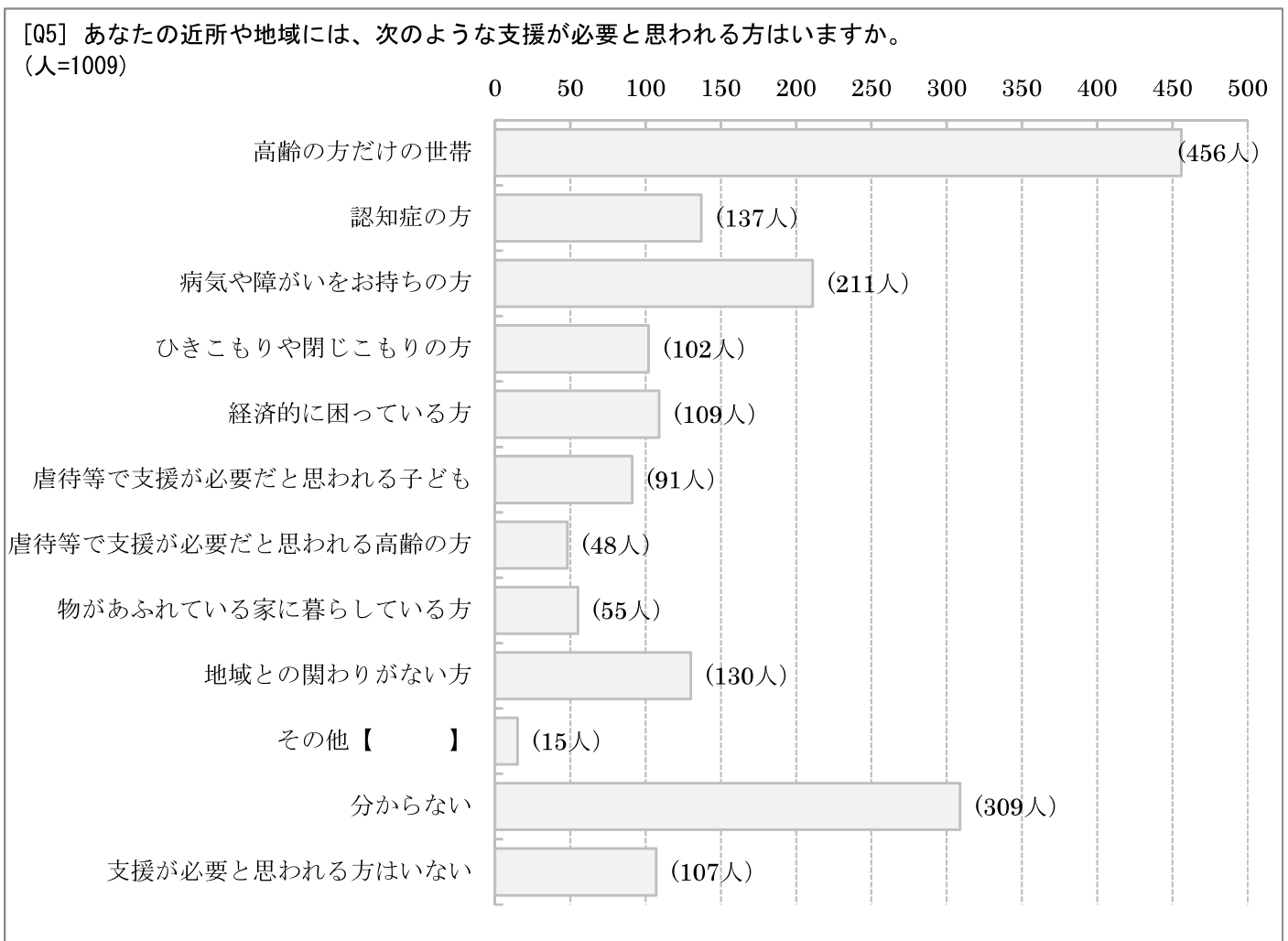
| 単一回答 | 人 | % |
|---|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい | 154 | 15.3 |
| 2 隣人同士が気軽に挨拶したり、声を掛け合ったりしたい | 398 | 39.4 |
| 3 住民が相互に協力して、地域を良くする活動に参加していきたい | 137 | 13.6 |
| 4 隣人の協力はあてにできないので、自分のことは自分です | 90 | 8.9 |
| 5 時間的に余裕のある方や、やる気のある方に地域と関わってもらいたい | 147 | 14.6 |
| 6 その他【 】 | 16 | 1.6 |
| 7 地域社会のためであっても、自分の生活・時間を大切にしたいので、地域的な関わりは持ちたくない | 67 | 6.6 |

「隣人同士が気軽に挨拶したり、声を掛け合ったりしたい」と考えている方が 398 人 (39.4%) で、全体の約 4 割を占めています。また、「隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい」154 人 (15.3%)、「住民が相互に協力して、地位をよくする活動に参加していきたい」137 人 (13.6%) と、地域の付き合いを肯定的に捉えている方が一定数いる一方で、「時間的に余裕のある方や、やる気のある方に地域と関わってもらいたい」という意見も 147 人 (14.6%) 見られます。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- ①から③項の全てが該当します。
- あまり考えたことがない
- 安心安全に暮らしたいが、活動のきっかけが無い
- 関わりたくないなので、自分のことは自分です
- 関わりを持つことは大切であると思うが、時間に制約があり難しい
- 顔見知り程度での挨拶位の付き合いが丁度よい
- 近所よりも広範囲に趣味のサークル、社会貢献で参加を優先している
- 高齢者とかは助けてあげたいが時間的余裕がない

- 参加できる時は参加したい。
- 賃貸に居住のため、隣人との付き合いは難しいが、地域単位としてであれば、自分ができる活動であれば参加してみたい気持ちはある
- 内容によっては地域の活動に協力したいが、強制や義務にされると負担になる。また挨拶くらいは良いが深く関わりたいとは思わない。
- 付き合いをしたくないわけではないが、関わり方の度合いがわからない
- 有事の際に協力できる関係でそれ以外はそこまで繋がりはたくはない
- 有事の時は協力し合うと思うが、普段なかなか関わりがない
- 隣人の人格によって接し方を調整するが、やはり他人ではあるので信頼してのやり取りは難しいと思う。ただ、地域の活動には参加して役にたてることがあればいいなとは思っている。
- 隣組の習慣がある地域なので、苦痛です



| 複数回答 | 人 | % |
|-----------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 高齢の方だけの世帯 | 456 | 45.2 |
| 2 認知症の方 | 137 | 13.6 |
| 3 病気や障がいをお持ちの方 | 211 | 20.9 |
| 4 ひきこもりや閉じこもりの方 | 102 | 10.1 |
| 5 経済的に困っている方 | 109 | 10.8 |
| 6 虐待等で支援が必要だと思われる子ども | 91 | 9.0 |
| 7 虐待等で支援が必要だと思われる高齢の方 | 48 | 4.8 |
| 8 物があふれている家に暮らしている方 | 55 | 5.5 |
| 9 地域との関わりがない方 | 130 | 12.9 |
| 10 その他【 】 | 15 | 1.5 |
| 11 分からない | 309 | 30.6 |
| 12 支援が必要と思われる方はいない | 107 | 10.6 |

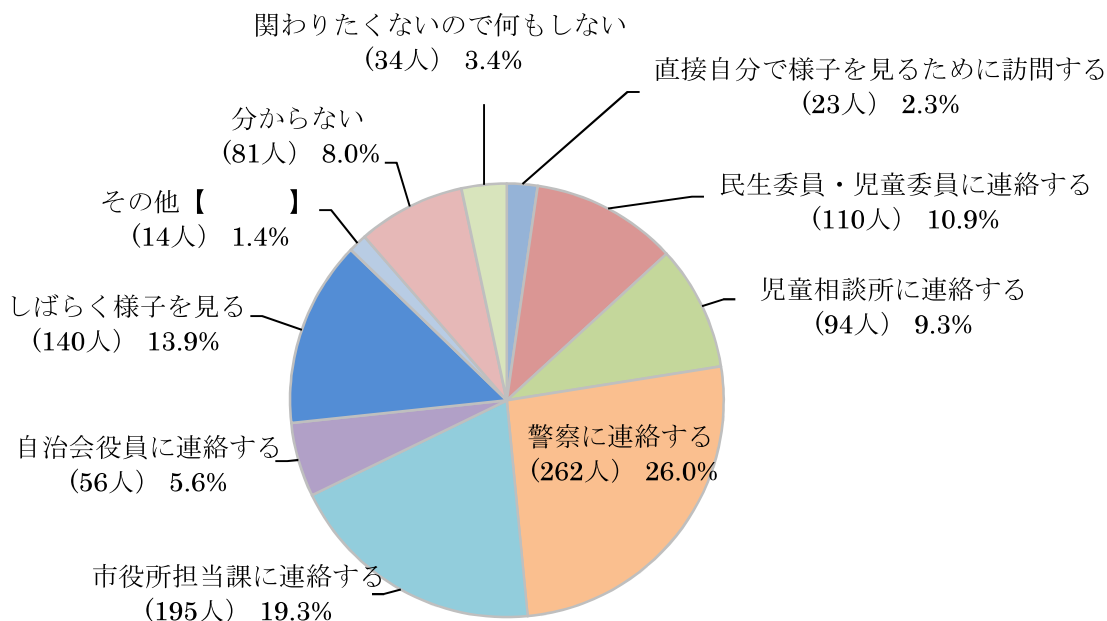
支援を必要としている方については、「高齢の方だけの世帯」が456人（45.2%）と最多で、「病気や障がいをお持ちの方」も211人（20.9%）います。一方で、「分からない」と答えた方が309人（30.6%）と、全体の3割を占めているため、近隣との関りが少ない方が一定数いることが分かります。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- ケース・バイ・ケースで対応
- 外国人
- 外国人。日本語がよく分からない方。
- 外国人世帯
- 高齢の方や障害がある方はいるがすでに支援をうけている様子
- 残地物が家の内外にある空き家
- 自己責任と思う
- 自分の家族で精一杯
- 奨学金の負債を抱えている若者
- 正規で入国されておられる外国人の方々への言語や地域における様々な壁の理解のある相談窓口が必要と考えます
- 生活の為に必要な利便性の高い移動手段の確保
- 全世帯高齢世帯
- 木の枝が電線より高く伸びてしまっている
- 路上駐車や迷惑行為をする方
- 話し相手が居ない方

[Q6] 最近、高齢の方の孤独死や児童虐待などのニュースを聞くことがあります。もし、あなたの周辺でそのようなことが起きるおそれがある状況を知ったとしたら、どのように対応しますか。

(人=1009)



| 単一回答 | 人 | % |
|---------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 直接自分で様子を見るために訪問する | 23 | 2.3 |
| 2 民生委員・児童委員に連絡する | 110 | 10.9 |
| 3 児童相談所に連絡する | 94 | 9.3 |
| 4 警察に連絡する | 262 | 26.0 |
| 5 市役所担当課に連絡する | 195 | 19.3 |
| 6 自治会役員に連絡する | 56 | 5.6 |
| 7 しばらく様子を見る | 140 | 13.9 |
| 8 その他【 】 | 14 | 1.4 |
| 9 分からない | 81 | 8.0 |
| 10 関わりたくないので何もしない | 34 | 3.4 |

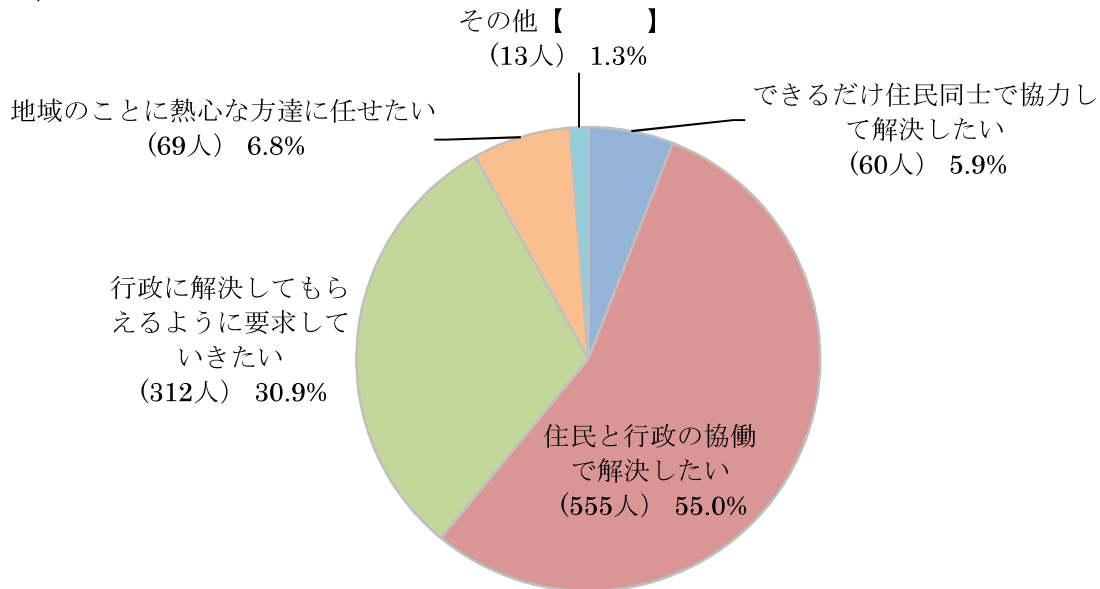
最多が「警察に連絡する」の262人(26.0%)で、「市役所担当課に連絡する」の195人(19.3%)と「児童相談所に連絡する」の94人(9.3%)を合わせて、公的機関に連絡をすると答えた方が、全体の半数を占めています。「民生委員・児童委員に連絡する」は110人(10.9%)、「自治会役員に連絡する」は56人(5.6%)であり、地域の身近な相談先に連絡をする方は2割弱に留まっています。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- ①、⑥、場合によっては④、自治会役員を通じて民生委員等への連絡になると考えます。
- マンションの管理組合に連絡する
- 家族に相談してどうするか決める
- 家族に話す
- 家族以外に興味は無い
- 学校に連絡
- 共通の関わりのある人に相談する
- 近所の方へ声を掛けて複数人で見守ります。改善しない様子であれば、専門機関へ相談することを検討します。
- 住宅の管理元に連絡する

- 地域担当の地域包括支援センターへ連絡します。
- 直接訪問するのは怖いですが、だからといって、どこに相談していいのかわからない
- 民生委員等誰がやっているか、わからない。名誉職ではと思ってしまう。近所の人と相談し、市役所に連絡します。
- 友人に相談する
- 隣の家の人に相談する

[Q7] 地域の問題に対して、どのような方法で解決すれば良いと思いますか。
(人=1009)



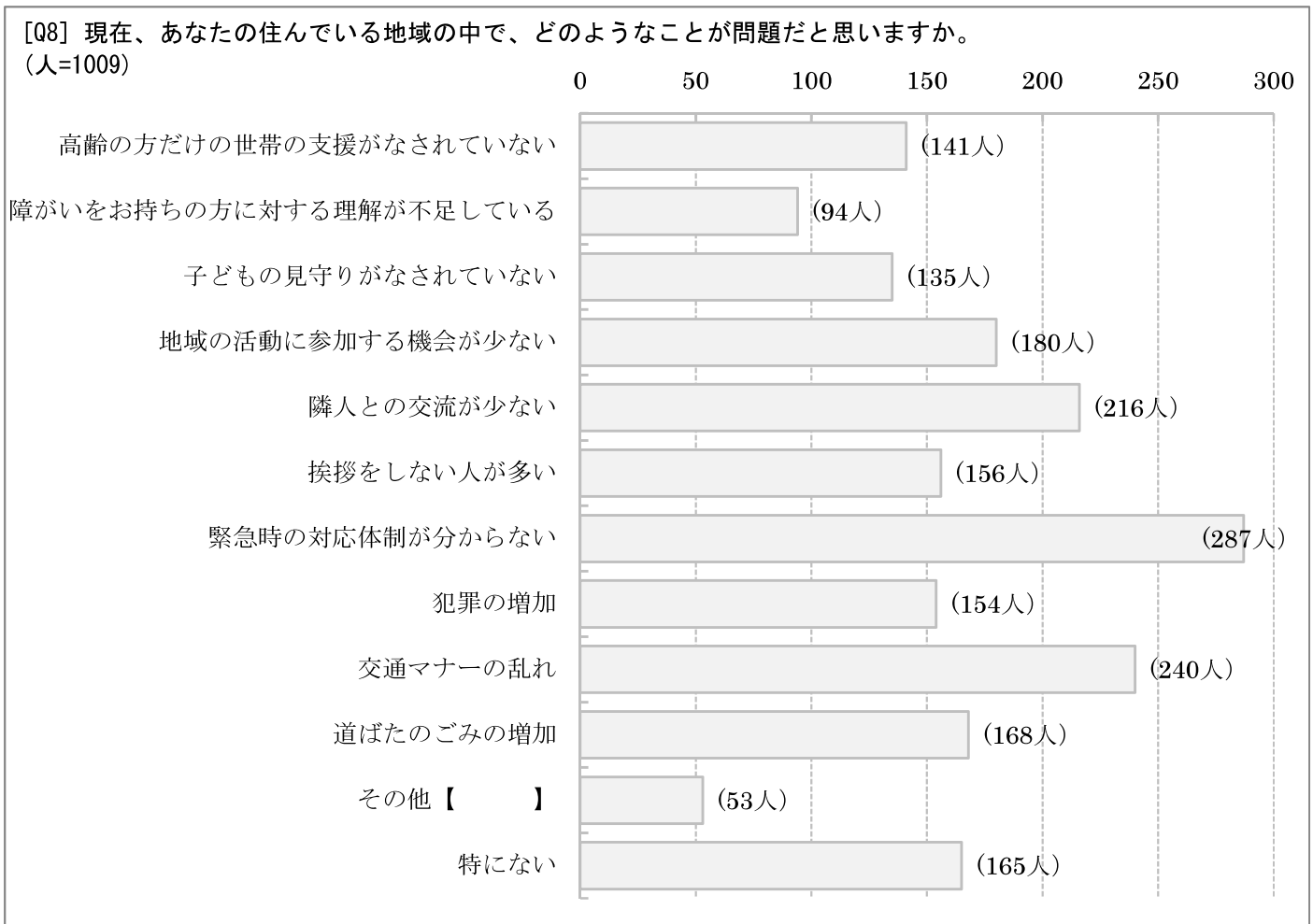
| 単一回答 | 人 | % |
|--------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 できるだけ住民同士で協力して解決したい | 60 | 5.9 |
| 2 住民と行政の協働で解決したい | 555 | 55.0 |
| 3 行政に解決してもらえるように要求していきたい | 312 | 30.9 |
| 4 地域のことに熱心な方達に任せたい | 69 | 6.8 |
| 5 その他【 】 | 13 | 1.3 |

地域の問題解決について、最多となる「住民と行政の協働で解決したい」555人（55.0%）と、次点の「行政に解決してもらえるように要求していきたい」の312人（30.9%）を併せた85%以上の方が、行政の支援を求めていることが分かります。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- 3番の行政に解決してもらえるように要求するのがいいと思うが、要求の仕方がわからない。
- ご近所との関わりと親類の方たちにも協力してもらいたい。
- なるべく住民同士で無理な時は行政
- よくわからない
- わからない
- 自分の歩んできた人生なので自己責任だと思う。私も我慢し努力してきたから今があると思う。
- 住んでいる地区にどのような問題があがっているのかははっきりわからない
- 住民や行政が介入出来るのは限度がある。その限度内でやっていくしか方法は無いと考えます。
- 住民同士だとトラブルに発展する場合がある。第三者の公的な立場の人に間に立ってもらいたい。

- 地域の問題の内容によるので、選択不能です！
- 日本人だけではないためお互いが受け入れていくこと
- 弁護士に相談
- 問題の内容、状況に応じた対応が必要なのでそれぞれに対応出来る相談窓口等の一覧表が欲しい！



| 複数回答 | 人 | % |
|--------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 高齢の方だけの世帯の支援がなされていない | 141 | 14.0 |
| 2 障がいをお持ちの方に対する理解が不足している | 94 | 9.3 |
| 3 子どもの見守りがなされていない | 135 | 13.4 |
| 4 地域の活動に参加する機会が少ない | 180 | 17.8 |
| 5 隣人との交流が少ない | 216 | 21.4 |
| 6 挨拶をしない人が多い | 156 | 15.5 |
| 7 緊急時の対応体制が分からない | 287 | 28.4 |
| 8 犯罪の増加 | 154 | 15.3 |
| 9 交通マナーの乱れ | 240 | 23.8 |
| 10 道ばたのごみの増加 | 168 | 16.7 |
| 11 その他【 】 | 53 | 5.3 |
| 12 特にない | 165 | 16.4 |

地域の問題について最多となったのは「緊急時の対応体制が分からない」287人（28.4%）であり、次いで「交通マナーの乱れ」240人（23.8%）、「隣人との交流が少ない」216人（21.4%）、「地域の活動に参加する機会が少ない」180人（17.8%）、「道ばたのごみの増加」168人（16.7%）と続きますが、「特にない」を選んだ方も165人（16.4%）いました。その他としていただいた意見は次のとおりです。

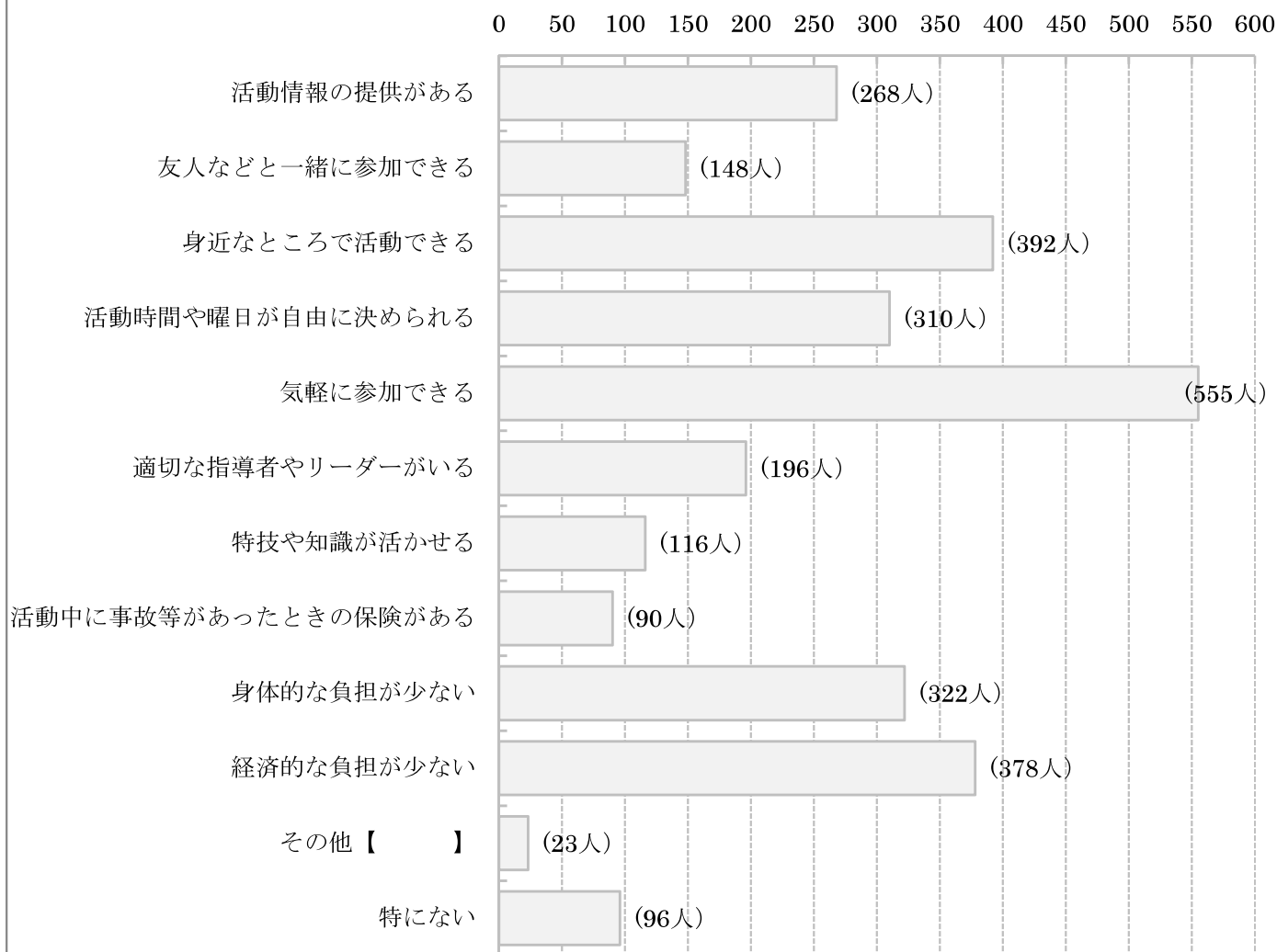
その他【 】

- ゴミの出し方のマナーが悪い。
- ゴミ捨てのルールを守らない
- ゴミ集積所の使用ルールが守れない。
- ゴミ出しルールを守らない。
- ゴミ置き場の掃除や公園の雑草
- どの国の人かわからない人が沢山いる
- ペットの糞を緑道に放置し、持ち帰らずに散歩させている
- わからない
- 駅前の喫煙、吸い殻のポイ捨て
- 過疎化における防犯や荒れ地問題
- 開発行為による騒音・振動
- 外国の方が急に増えた
- 外国の方が多くコミュニケーションがとりにくい
- 外国人が多くて習慣言葉が違い不安
- 外国人のマナー
- 外国人の住民が多くなり文化習慣の違いでゴミ出しや生活習慣のルールが守られない。
- 外国人の方のマナーの悪さ
- 外国人住居者のマナー
- 近隣の住宅は転入と転出が多く地域機能は薄い
- 空き家に対して何もされずそのままになっている
- 空き家放置
- 犬の糞尿の不始末
- 県道沿いのガードレールからはみ出した草木の刈り取り除去。県土木に要請しても、対応してくれない。
- 行政の対応が遅い
- 高齢化が進んで、井戸端会議をしているのを見なくなった。
- 子育てと題して夜遅くまでBBQなどで騒いでいる。道路を遊び場にしている。子育てをするにもマナーがなっていない、それを問題にしていない。
- 子供がボール遊びする場所が足りない、路上はやめてほしい
- 自治体に参加されない方のゴミ出しに関して多大な問題がある
- 自分達家族の老後資金
- 住人の方々が、上記各項のマイナス部分に、消極的なり易くなっていると考えます。住人、ご近所、自治会、役所それぞれが協力し合い、
- 住民それぞれの考えが多様な中で、それをどのようにすりあわせて協力して行けるのか、難しい所が問題だと思う
- 成田ニュータウンの防犯パトロールは良く実施されていると思いますが、交差点には「センチネル爺さん」が必要です
- 生ごみのカラス被害
- 単身世帯でも、働いていると、地域の行事に参加しづらく、機械を得るのが難しい。アパートなどは、特に難しい
- 地域の方に、もうちょっと登下校時の見守りをお願いしたいです。
- 中国人住民のマナーの悪さ(ゴミすて、夜さわぐ)
- 通学路の安全性
- 道路が凸凹
- 特別地区の為、若い世代が少なく、高齢化が進んでいる

- 独居老人、認知症の方との関わりは必要だが、周りの状況が見えない。
- 独居老人の増加
- 猫の放し飼い
- 浮浪者、ホームレスの人に公園のトイレの掃除などをしてもらい、自立支援をしたら良いと思ってます。通学路をウロウロとしていたり、学区内の地下道で寝泊まりしていると、子供達の安全が心配なため。
- 歩きタバコ
- 本城地区に飲食店が少ない
- 野良猫に餌をやっている
- 隣人で耳が聞こえない家族がおり何か起きた際のコミュニケーションに不安有
- 隣接する空き地の高草木等の放置
- 例えばごみ捨てでも、街路樹の枝が落ちていてもかたそうともしない、自分本意な人が多くなった。勝手主義な世を作ったのは左より考えの弁護士であり共産党立憲民主党の駄目な人間たちだ
- 路上駐車
- 路上駐車
- 路上駐車
- 路上駐車[死角が増えて危ない]

[Q9] どのような条件であれば、地域活動などに参加したいと思いますか。

(人=1009)



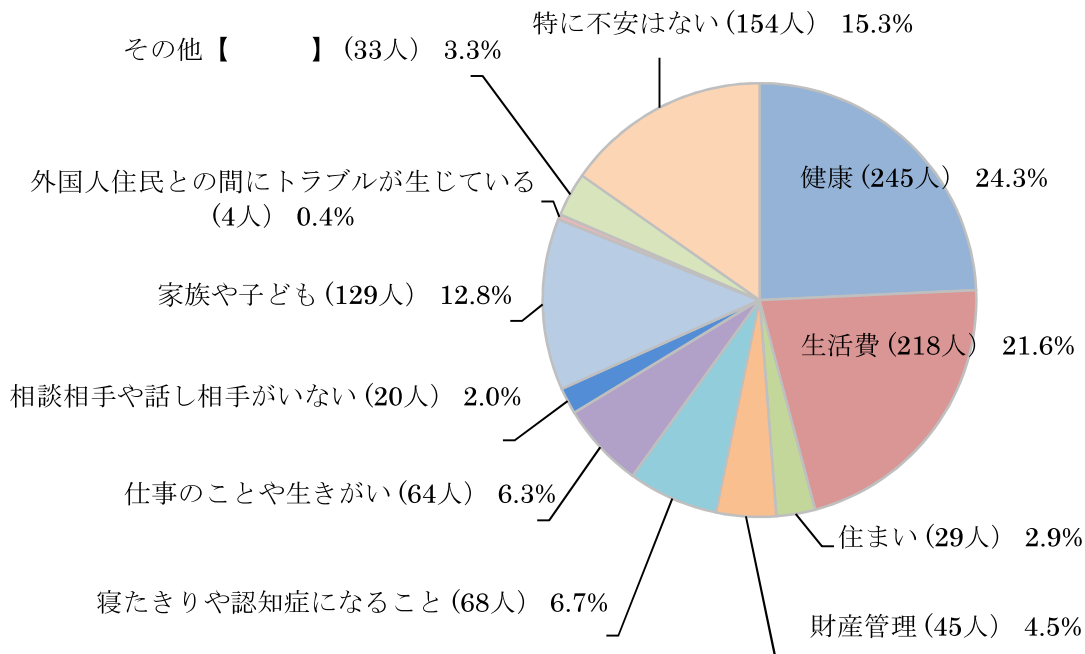
| 複数回答 | 人 | % |
|-----------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 活動情報の提供がある | 268 | 26.6 |
| 2 友人などと一緒に参加できる | 148 | 14.7 |
| 3 身近なところで活動できる | 392 | 38.9 |
| 4 活動時間や曜日が自由に決められる | 310 | 30.7 |
| 5 気軽に参加できる | 555 | 55.0 |
| 6 適切な指導者やリーダーがいる | 196 | 19.4 |
| 7 特技や知識が活かせる | 116 | 11.5 |
| 8 活動中に事故等があったときの保険がある | 90 | 8.9 |
| 9 身体的な負担が少ない | 322 | 31.9 |
| 10 経済的な負担が少ない | 378 | 37.5 |
| 11 その他【 】 | 23 | 2.3 |
| 12 特にない | 96 | 9.5 |

地域活動参加の条件としては「気軽に参加できる」555人（55.0%）が最多であり、全体の半数以上を占めています。次いで多かったのは「身近なところで参加できる」392人（38.9%）、「経済的な負担が少ない」378人（37.5%）、「身体的な負担が少ない」322人（31.9%）などであり、制約の少なさを条件に挙げる意見が多く見られます。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- 1 番と同じだが、活動の日程をこまめに発信してくれればいい。また、最近流行りのバイトアプリみたいにこの日に参加できるから申し込もうというようなことができるといい。
- オンラインでゆるく参加できる
- こどもが参加できる
- すでに地域活動に参加している。
- ほとんどの地域活動に参加しているが顔ぶれが同じこと若い人の参加が少ない事
- めんどくさくない
- 飲み会打ち上げ、食事会がない
- 学校などで、障害者についての講演は出来ます。市役所の職員にも障害者の体験支援は出来ます。
- 区長や班長などが回ってくるのが面倒くさいので、そのような役割が無ければ参加したい。
- 空き時間に参加できるようになれば
- 高齢者も活動を通じて体を動かし地域と自分のための一石二鳥にも3鳥にもなる
- 最低限ですいいと思います
- 参加を強要されない。個々に生活生業があります
- 子どもたちを連れて参加しやすい
- 思わない
- 時間を取られないのであれば
- 時間的に余裕がある時
- 自分にメリットがある
- 商品券などの報酬がある。
- 上記の全てが、大なり小なり絡んできます。小さな気掛かりが、今後の地域活動への妨げにならぬ様、いろいろな角度から留意していく必要が有ると考えます。
- 地域活動をする必要性が分からない
- 同世代がいると、地域活動を通じて情報交換ができそう。
- 報酬があるなら

[Q10] 現在、一番不安に感じていることは何ですか。
(人=1009)



| 単一回答 | 人 | % |
|-----------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 健康 | 245 | 24.3 |
| 2 生活費 | 218 | 21.6 |
| 3 住まい | 29 | 2.9 |
| 4 財産管理 | 45 | 4.5 |
| 5 寝たきりや認知症になること | 68 | 6.7 |
| 6 仕事のことや生きがい | 64 | 6.3 |
| 7 相談相手や話し相手がいない | 20 | 2.0 |
| 8 家族や子ども | 129 | 12.8 |
| 9 外国人住民との間にトラブルが生じている | 4 | 0.4 |
| 10 その他【 】 | 33 | 3.3 |
| 11 特に不安はない | 154 | 15.3 |

現在の不安としては、「健康」を挙げる方が245人(24.3%)が最多で、全体の約1/4を占めています。次いで多かったのは、「生活費」218人(21.6%)、「家族や子ども」129人(12.8%)などとなっています。その他としていただいた意見は次のとおりです。

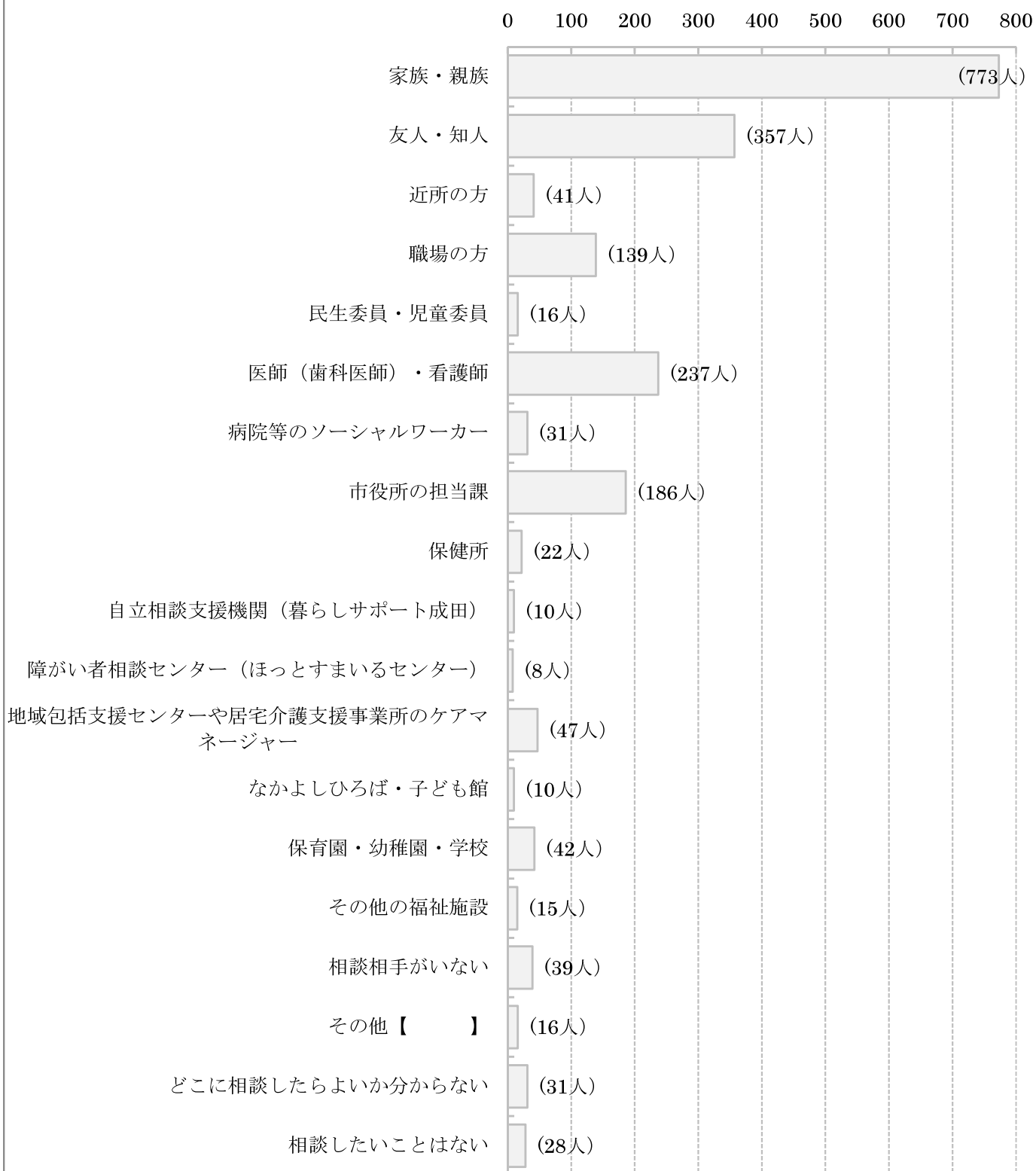
その他【 】

- UR賃貸が回りに沢山あり、多種多様の外国人が多く不安
- ゴミ集積場を高齢者でも苦勞なく出せるよう改良を
- これも単一回答にするには、大きな抵抗があります。全ての基盤である「健康」と「経済」が、不安への原点になっていません。
- マナーの悪い年寄りが多い車を運転していても年寄りが突っ込んで来る事が多い迷惑をかけている事にも気がついていない
- 加齢による体調不良
- 家族の健康
- 外国の方が多く今後トラブルとかにつながらないか心配

- 外国人が集団で住んでいて不安
- 近所の猫の放し飼い
- 近所の防犯などの安全性
- 近隣道路路駐、住宅街の近隣生活道路の車のスピードが速い
- 国民に負担が大きい法律の施行
- 今後の暮らし方
- 妻の体調
- 自治会のありかた
- 自分の老後全般
- 車運転できなくなった時の買い物通院
- 将来に対する漠然とした不安
- 将来のお金に関すること
- 少子高齢化
- 新型コロナウイルスの感染拡大(情報が入らない)
- 人間関係
- 成田市に生まれた子供達が故郷としての成田の事を知らなさすぎると感じる事
- 足腰が弱った時の5階で暮らしている事
- 知らない子供達が、道で遊んでいる。
- 地域の治安
- 地域活動をするにも自分の生活が一番的な方が多すぎる。社会的な教育制度などに問題がある。ゴミは捨てない。困っている人がいたら手を貸してあげる。お寺や神社の前を通る際にはお辞儀するくらいの教えはこれまでの日本の良い文化であった。
- 地震
- 地震や災害
- 特に不安はない、日頃ご近所との付き合いを大切に、多くを望まない生活に心掛けている
- 防犯
- 防犯体制
- 老後

[Q11] あなたは、健康や福祉について困ったとき、誰に相談しますか。

(人=1009)



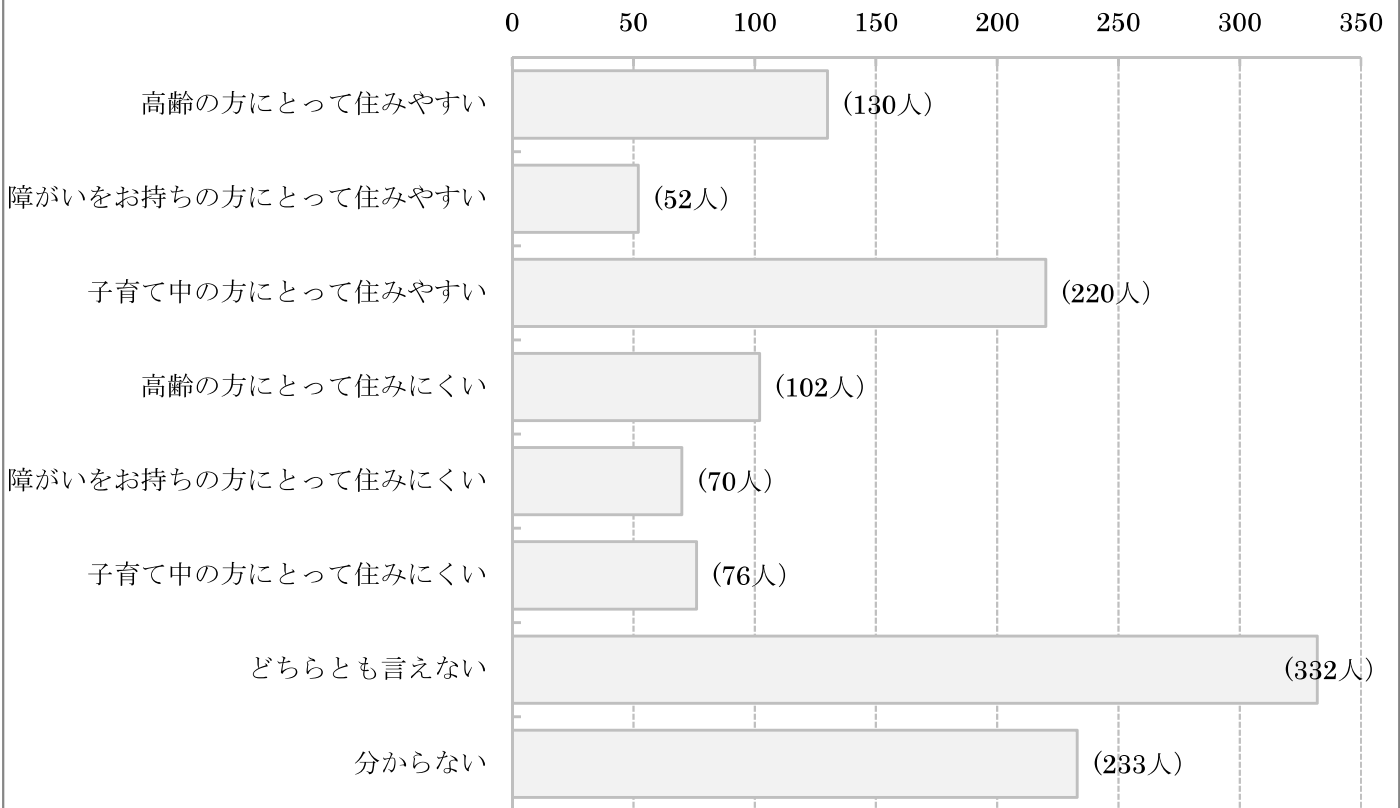
| 複数回答 | 人 | % |
|----------------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 家族・親族 | 773 | 76.6 |
| 2 友人・知人 | 357 | 35.4 |
| 3 近所の方 | 41 | 4.1 |
| 4 職場の方 | 139 | 13.8 |
| 5 民生委員・児童委員 | 16 | 1.6 |
| 6 医師（歯科医師）・看護師 | 237 | 23.5 |
| 7 病院等のソーシャルワーカー | 31 | 3.1 |
| 8 市役所の担当課 | 186 | 18.4 |
| 9 保健所 | 22 | 2.2 |
| 10 自立相談支援機関（暮らしサポート成田） | 10 | 1.0 |
| 11 障がい者相談センター（ほっとすまいるセンター） | 8 | 0.8 |
| 12 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネージャー | 47 | 4.7 |
| 13 なかよしひろば・子ども館 | 10 | 1.0 |
| 14 保育園・幼稚園・学校 | 42 | 4.2 |
| 15 その他の福祉施設 | 15 | 1.5 |
| 16 相談相手がない | 39 | 3.9 |
| 17 その他【 】 | 16 | 1.6 |
| 18 どこに相談したらよいか分からない | 31 | 3.1 |
| 19 相談したいことはない | 28 | 2.8 |

健康や福祉に不安がある際の相談先には、「家族・親族」を挙げる方が773人（76.6%）と最多であり、全体の3/4を超える結果となりました。次いで多かった意見は、「友人・知人」の357人（35.4%）、「医師（歯科医師）・看護師」237人（23.5%）、「市役所の担当課」186人（18.4%）などとなっています。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- SNS
- インターネット
- インターネット
- ネットで検索して治療方法、薬などの知識を得る
- ネットで検索する
- ネットで調べる
- パソコン等で検索する。
- 家族以外の第三者に相談しても進展しないと思う
- 会社の産業医
- 市議会議員
- 自分で調べる
- 他人に迷惑をかけない。かかりつけ医に相談するなど。その場その場において判断する
- 福祉は何処か分からない
- 保健福祉館
- 問題による
- 薬剤師

[Q12] 成田市は、高齢の方や障がいをお持ちの方、子育て中の方にとって、住みやすいまちだと思いますか。
(人=1009)

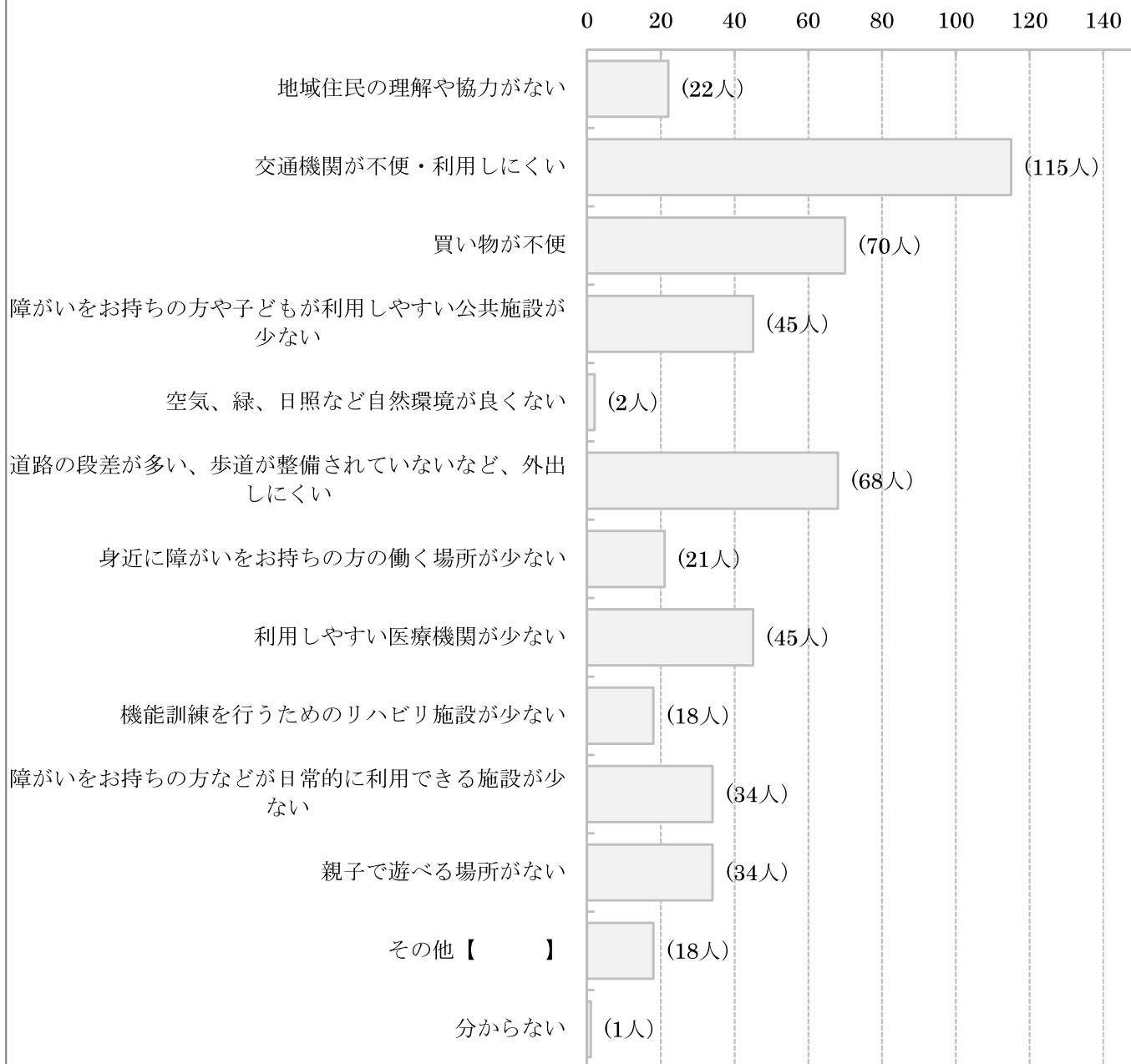


| 複数回答 | 人 | % |
|----------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 高齢の方にとって住みやすい | 130 | 12.9 |
| 2 障がいをお持ちの方にとって住みやすい | 52 | 5.2 |
| 3 子育て中の方にとって住みやすい | 220 | 21.8 |
| 4 高齢の方にとって住みにくい | 102 | 10.1 |
| 5 障がいをお持ちの方にとって住みにくい | 70 | 6.9 |
| 6 子育て中の方にとって住みにくい | 76 | 7.5 |
| 7 どちらとも言えない | 332 | 32.9 |
| 8 分からない | 233 | 23.1 |

住みやすさについては、「どちらとも言えない」332人（32.9%）が最多となりましたが、子育て中の方にとって「住みやすい」と答えた方が220人（21.8%）であり、「住みにくい」と答えた方76人（7.5%）の約3倍ほどとなりました。高齢の方の場合は、「住みやすい」130人（12.9%）と「住みにくい」102人（10.1%）の差が縮まり、障がいをお持ちの方に関しては、「住みやすい」52人（5.2%）を「住みにくい」70人（7.5%）が上回る結果となっています。

[Q13] どのような点が住みにくいと思いますか。

(人=172)



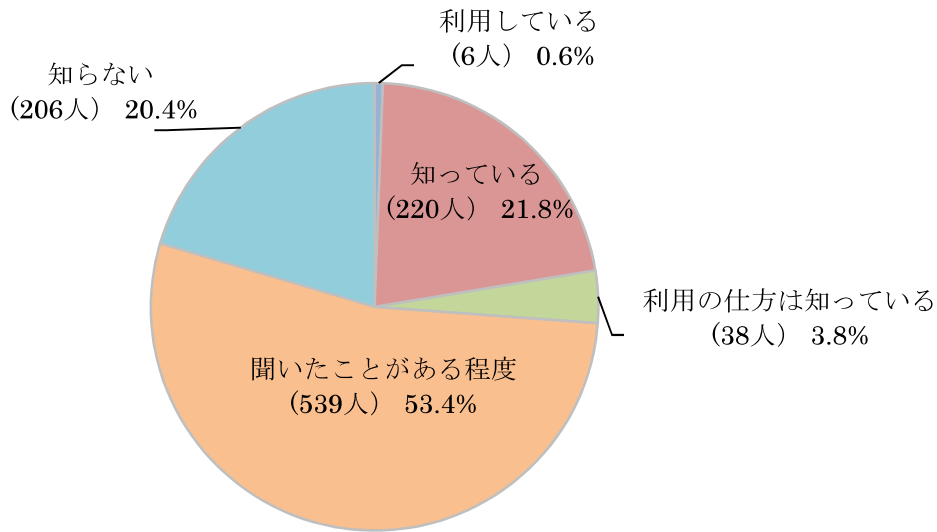
| 複数回答 | 人 | % |
|---------------------------------|-------|------|
| 全体 | (172) | |
| 1 地域住民の理解や協力がいない | 22 | 12.8 |
| 2 交通機関が不便・利用しにくい | 115 | 66.9 |
| 3 買い物が不便 | 70 | 40.7 |
| 4 障がいをお持ちの方や子どもが利用しやすい公共施設が少ない | 45 | 26.2 |
| 5 空気、緑、日照など自然環境が良くない | 2 | 1.2 |
| 6 道路の段差が多い、歩道が整備されていないなど、外出しにくい | 68 | 39.5 |
| 7 身近に障がいをお持ちの方の働く場所が少ない | 21 | 12.2 |
| 8 利用しやすい医療機関が少ない | 45 | 26.2 |
| 9 機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない | 18 | 10.5 |
| 10 障がいをお持ちの方などが日常的に利用できる施設が少ない | 34 | 19.8 |
| 11 親子で遊べる場所がない | 34 | 19.8 |
| 12 その他【 】 | 18 | 10.5 |
| 13 分からない | 1 | 0.6 |

住みにくい理由として最多となったのは、「交通機関が不便・利用しにくい」の115人（66.9%）であり、次いで「買い物が不便」70人（40.7%）、「道路の段差が多い、歩道が整備されていないなど、外出しにくい」68人（39.5%）などの意見が多くなっています。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- ひとり親家庭への支援
- 医療費を無料にしてほしい
- 家賃などが高すぎる
- 希望する保育園に入れない
- 交通が不便な地域は市の活動には参加できない。時間と金銭的余裕が無いとなんのメリットも無い。
- 公園が少ない
- 公園が少ない
- 子育て支援が他の市町村より乏しい
- 子供達への支援取組が他の市に比べて少ない
- 小児科が少ない
- 小児科など予約が取れないことがある。
- 障害を持つこどもの支援センターが、いっぱいであること。成田市内には、障害を持つ子どもが通えるような療育園がないこと
- 障害者のせいなのか、アルバイトしてもブラック企業ばかりになります。福祉課に相談したら「障害者用」の雇用を勧められて。そうなるのは当たり前かもしれないけど、門が狭まる気持ちが拭えないです。雇い手の理解が足りないのか、自分の障害のせいでそう思うのか何だか働く事の意味が分からなくなりました。
- 情報の絶対量が少ない。事件が起きてからの対処では間に合わない事が多く、前例がないの一言で窓口のシャッターは閉ざされる。
- 成田は優しくない方が多い。
- 地域包括支援センターの拠点や人員が少ない(特にニュータウン)
- 防犯情報が地域別になっていて不審者情報が来ない。
- 免許証返納後に対する細やかな配慮が無い！年齢関係なく集まれるコミュニティが街中に無い

[Q14] あなたは、成年後見制度について、どの程度知っていますか。
(人=1009)

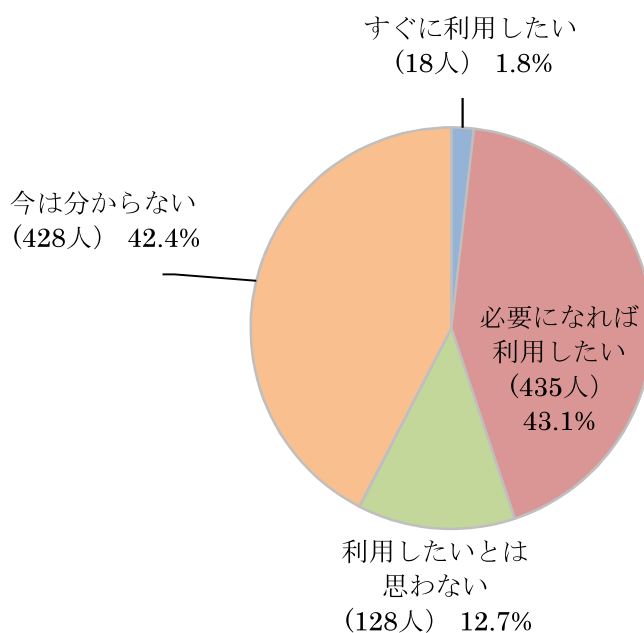


| 単一回答 | 人 | % |
|---------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 利用している | 6 | 0.6 |
| 2 知っている | 220 | 21.8 |
| 3 利用の仕方は知っている | 38 | 3.8 |
| 4 聞いたことがある程度 | 539 | 53.4 |
| 5 知らない | 206 | 20.4 |

成年後見制度についての質問では、「聞いたことがある程度」に知っている方が539人(53.9%)と、全体の過半数を超えていますが、「知っている」と答えた方220人(21.8%)と、「知らない」と答えた方206人(20.4%)はほぼ同じ割合となっています。

[Q15] あなたは、判断能力が低下するなどし、支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。

(人=1009)

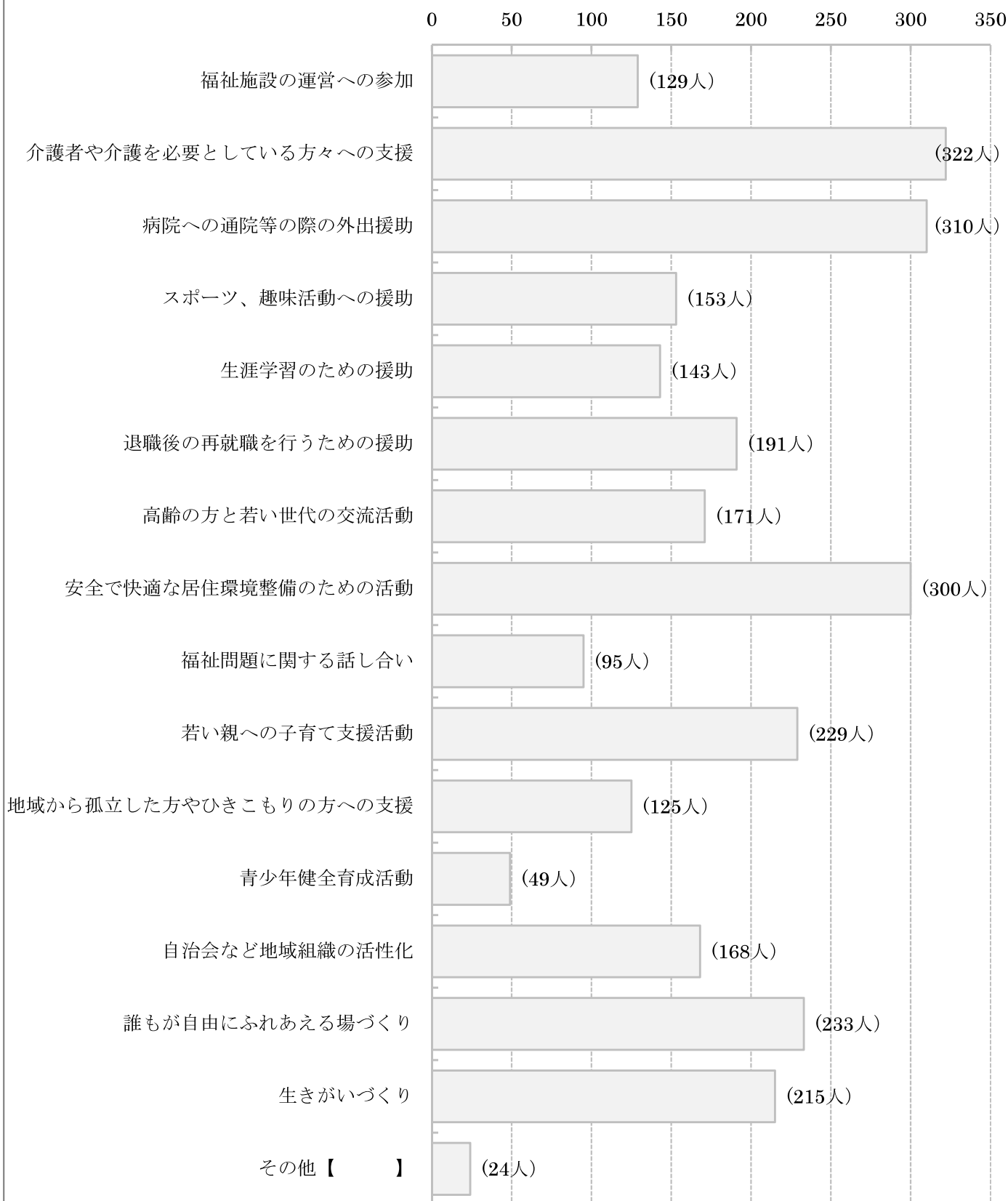


| 単一回答 | 人 | % |
|---------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 すぐに利用したい | 18 | 1.8 |
| 2 必要になれば利用したい | 435 | 43.1 |
| 3 利用したいとは思わない | 128 | 12.7 |
| 4 今は分からない | 428 | 42.4 |

成年後見制度の利用希望についての質問では、最多は「必要になれば利用したい」と答えた方で、435人(43.1%)
 いますが、「今は分からない」と答えた方も428人(42.4%)で、ほぼ同じ割合になっています。

[Q16] 今後、地域福祉活動を推進していく上で、地域住民として、どのような取組が必要であるとお考えですか。

(人=1009)



| 複数回答 | 人 | % |
|--------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 福祉施設の運営への参加 | 129 | 12.8 |
| 2 介護者や介護を必要としている方々への支援 | 322 | 31.9 |
| 3 病院への通院等の際の外出援助 | 310 | 30.7 |
| 4 スポーツ、趣味活動への援助 | 153 | 15.2 |
| 5 生涯学習のための援助 | 143 | 14.2 |
| 6 退職後の再就職を行うための援助 | 191 | 18.9 |
| 7 高齢の方と若い世代の交流活動 | 171 | 16.9 |
| 8 安全で快適な居住環境整備のための活動 | 300 | 29.7 |
| 9 福祉問題に関する話し合い | 95 | 9.4 |
| 10 若い親への子育て支援活動 | 229 | 22.7 |
| 11 地域から孤立した方やひきこもりの方への支援 | 125 | 12.4 |
| 12 青少年健全育成活動 | 49 | 4.9 |
| 13 自治会など地域組織の活性化 | 168 | 16.7 |
| 14 誰もが自由にふれあえる場づくり | 233 | 23.1 |
| 15 生きがいづくり | 215 | 21.3 |
| 16 その他【 】 | 24 | 2.4 |

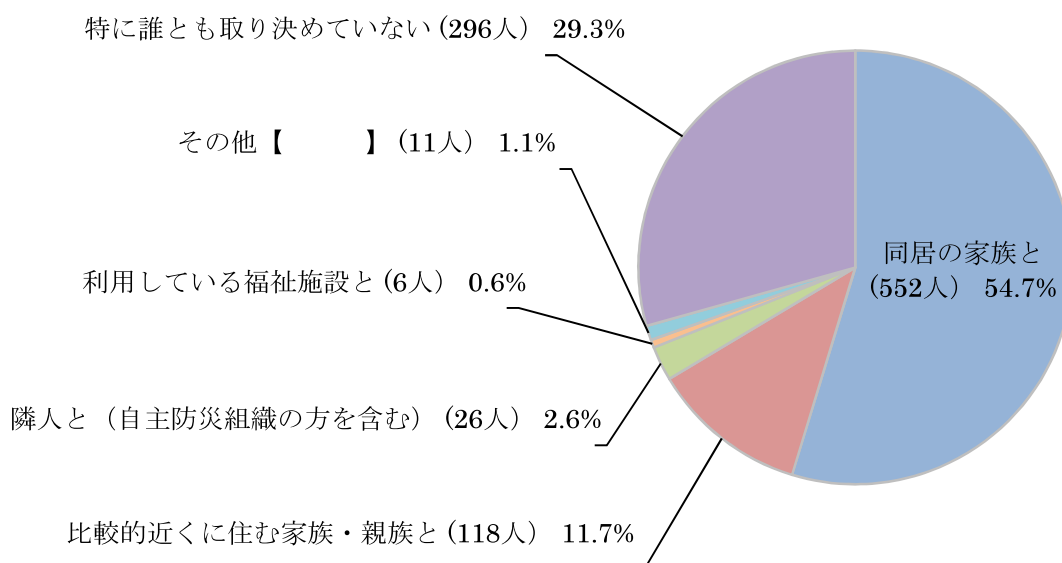
地域住民として必要な活動としては、「介護者や介護を必要としている方々への支援」の 322 人（31.9%）が最多でした。次いで多かったのは「病院への通院等の際の外出援助」が 310 人（30.7%）と「安全で快適な居住環境整備のための活動」の 300 人（29.7%）で、いずれも全体の約 3 割の方が必要性を感じている結果となりました。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- 1～15すべて重要なのでそれらがすべて複合的に必要な取り組み。
- あらゆる SNS で取り組みや活動の発信
- スポーツ、趣味援助は平日の日中しか行われないので、仕事をしている人が参加できないので、夜や土日にも実施して欲しい。運動公園のヨガやピラティスなど。
- どれも必要と感じるが、どう関わられるかわからない。
- ひとり親世帯平等に支援して欲しい。
- まずこんな迷惑をかけてないか？とお年寄りにしつこく勉強などをさせて欲しい、あと若い人に介護を押し付けないで若いうちしか出来ない事をやらせてあげる事、あと少し歳をとって介護に興味が出てきた人に介護を気軽に手伝えるシステム作りが必要だと思います
- まずは既存の周知方法から見直すべき…いいものはあっても宣伝が下手くそすぎる
- 活動参加にあたって休暇取得等の職場への理解を求める
- 挙げられている項目はそれぞれ大事なことなので、住民にどの程度対応するかは情報を集約して、地域や人によって判断して推進していただきたい
- 共稼ぎが多く若い方の自治会等の参加が少なく今後も参加を望めない。この状況を改善するには、どうすれば良いか課題と思っている
- 傾聴のボランティアを希望しています。老人ホームその他。
- 個人差があるのでは？
- 高齢の独身者見守り
- 高齢者の免許返納者の公共交通機関の無料化
- 高齢者や幼児の福祉に偏り過ぎ。もっと幅広い年代への子育て支援が必要。
- 治安維持。犯罪防止
- 親が子から一時的にでも離れられる仕組み(特に夜間、病気の時)
- 制度の啓蒙活動

- 昔は良くても今が通用するとは限らない。時代という認識が最も必要と考える。
- 団塊ジュニア世代への支援
- 地域の住民ができる範囲はとて限られていると思う。親類の方に頼るところが大きいと思う。
- 不明
- 福祉に特化することなく、日本国民として連帯感のある社会をめざせば良いと思います。
- 歩道の確保。道幅の確保。

[Q17] あなたは、災害が起きた時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、自分以外の誰かと取り決めていますか。
(人=1009)



| 単一回答 | 人 | % |
|--------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 同居の家族と | 552 | 54.7 |
| 2 比較的近くに住む家族・親族と | 118 | 11.7 |
| 3 隣人と（自主防災組織の方を含む） | 26 | 2.6 |
| 4 利用している福祉施設と | 6 | 0.6 |
| 5 その他【 】 | 11 | 1.1 |
| 6 特に誰とも取り決めていない | 296 | 29.3 |

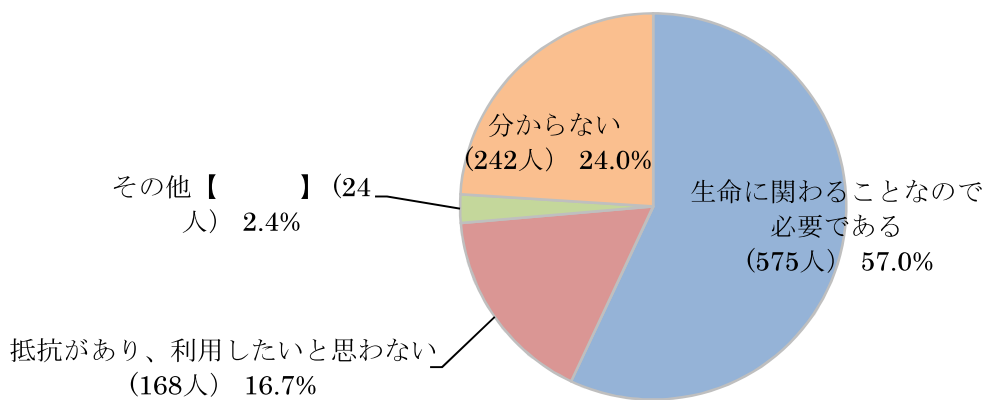
災害時対応の取り決めをしている相手については、「同居の家族」とされている方が 552 人（54.7%）と最多で、「特に誰とも取り決めていない」とした 296 人（29.3%）を除けば、「比較的近くに住む家族・親族」118 人（11.7%）との間に大きな差が生じています。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- 会社の内部規定
- ALSOK の非常通報装置を持っている。呼吸器・酸素業者の電源確認に入っている。
- 離れて暮らす子ども
- 誰も居ない

- 同僚と
- ひとり親世帯平等に支援してほしい
- 会社
- 人は単独では生活できないが、同居家族、離れた家族、そして近隣者などと常に連絡を取り合い万が一に備えておく。
- 離れている家族と
- 職場
- 友人

[Q18] 高齢の方や障がいをお持ちの方などの避難行動要支援者について、住所や連絡先などの個人情報や地域の関係者で共有することに対してどのように思いますか。
(人=1009)



| 単一回答 | 人 | % |
|--------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 生命に関わることなので必要である | 575 | 57.0 |
| 2 抵抗があり、利用したいと思わない | 168 | 16.7 |
| 3 その他【 】 | 24 | 2.4 |
| 4 分からない | 242 | 24.0 |

避難行動要支援者の個人情報の共有については、「生命に関わることなので必要である」と考える方が最多の575人（57.0%）となりました。次いで多かったのは「分からない」の242人（24.0%）であり、「抵抗があり、利用したいと思わない」方と答えた方も168人（16.7%）いました。その他としていただいた意見は次のとおりです。

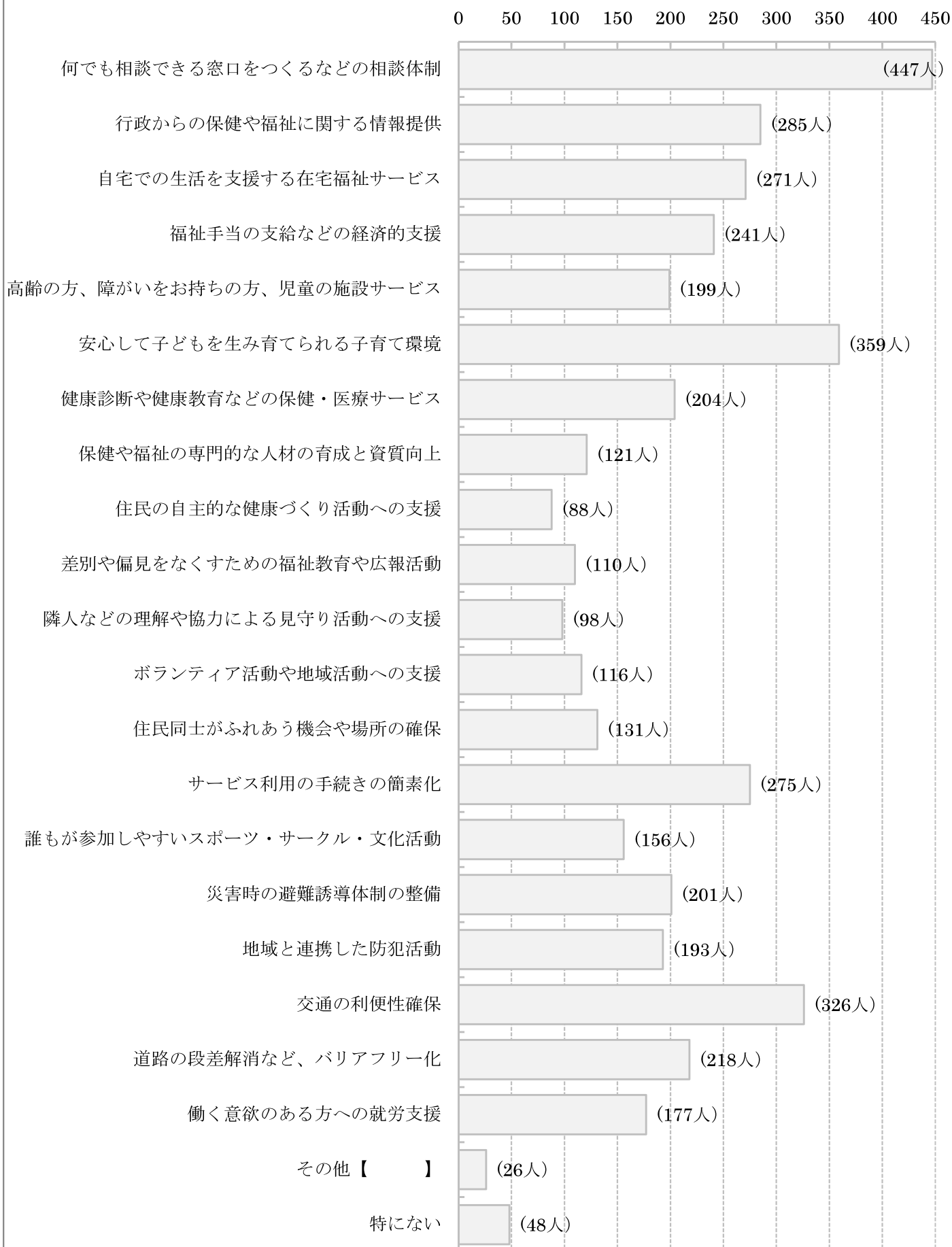
その他【 】

- 現代は近所付き合いより職場での知人の付き合いが圧倒的に多い
- 個人情報の共有に関する法律、市民の認識がまだ低いと思う。悪用されない整備をした上で活用されれば良いと思う
- 個人情報の取り扱いが難しいと思う
- 個人情報やプライバシーに関わることなので、する側・される側共に難しそう。
- 個人情報保護
- 個人情報保護の意味がわかっていない高齢者との情報共有には抵抗がある
- 支援の必要はない

- 支援者が決められるようにしたいと思う
- 自治会で既にしている
- 自治会長など情報管理者を制限する
- 取り扱いに関して統一ルールなど設けるべきでは
- 住所や連絡先も分からない人が支援することは難しそうに感じます
- 情報として持っておく必要はある
- 対象者が希望するのであれば、ありだと思う
- 地域による。実家の方は古くからの知人が多いのでお互い様だが。
- 地域の関係者の個人情報に対するリテラシーによる。高齢者や障害のある方は詐欺などにもあいやすい。個人情報が悪用されればその被害にあうこともある。この文章で言う「地域の関係者」がどういった者を指すのかわからないが、自治会の役員などであれば、それらの者もまた高齢であり、個人情報保護などのリテラシーが低いことが懸念される。
- 地域の関係者の範囲による(関係が良い人ばかりとは限らないから)
- 同意が可能かなど、ケースによる
- 必要であれば協力したいが、実際は自分達の事で精一杯だと思う
- 必要時だけ開封するように密封した名簿を関係者に配布する。デジタル的にはパスワードをかけておき、開示記録が残るようにする。
- 本人の許可(誰と誰なら OK)のある範囲なら共有しても問題無いと思います。
- 本人の同意が必要だと思う
- 要支援者側が希望すればいいと思う。
- 利用したいとは思いますが、共有の方法を考えるべきである

[Q19] 成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものは何ですか。

(人=1009)



| 複数回答 | 人 | % |
|----------------------------|--------|------|
| 全体 | (1009) | |
| 1 何でも相談できる窓口をつくるなどの相談体制 | 447 | 44.3 |
| 2 行政からの保健や福祉に関する情報提供 | 285 | 28.2 |
| 3 自宅での生活を支援する在宅福祉サービス | 271 | 26.9 |
| 4 福祉手当の支給などの経済的支援 | 241 | 23.9 |
| 5 高齢の方、障がいをお持ちの方、児童の施設サービス | 199 | 19.7 |
| 6 安心して子どもを産み育てられる子育て環境 | 359 | 35.6 |
| 7 健康診断や健康教育などの保健・医療サービス | 204 | 20.2 |
| 8 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質向上 | 121 | 12.0 |
| 9 住民の自主的な健康づくり活動への支援 | 88 | 8.7 |
| 10 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動 | 110 | 10.9 |
| 11 隣人などの理解や協力による見守り活動への支援 | 98 | 9.7 |
| 12 ボランティア活動や地域活動への支援 | 116 | 11.5 |
| 13 住民同士がふれあう機会や場所の確保 | 131 | 13.0 |
| 14 サービス利用の手続きの簡素化 | 275 | 27.3 |
| 15 誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動 | 156 | 15.5 |
| 16 災害時の避難誘導体制の整備 | 201 | 19.9 |
| 17 地域と連携した防犯活動 | 193 | 19.1 |
| 18 交通の利便性確保 | 326 | 32.3 |
| 19 道路の段差解消など、バリアフリー化 | 218 | 21.6 |
| 20 働く意欲のある方への就労支援 | 177 | 17.5 |
| 21 その他【 】 | 26 | 2.6 |
| 22 特になし | 48 | 4.8 |

本市の保健福祉に特に重要なものとしては、「何でも相談できる窓口をつくるなどの相談体制」が447人(44.7%)と最多となり、次いで「安心して子どもを産み育てられる子育て環境」359人(35.6%)、「交通の利便性確保」326人(32.3%)、「行政からの保健や福祉に関する情報提供」285人(28.2%)、「サービス利用の手続きの簡素化」275人(27.3%)などが続いています。その他としていただいた意見は次のとおりです。

その他【 】

- コミュニティバスの便を増やして欲しいです
- 街灯、カーブミラーの設置。特に通学路に早急をお願いします。
- 防犯に関わる不審者情報の迅速な周知徹底が必要。
- 本気で向き合ってくれる相談窓口
- 不良外人の日本での生活への指導、教育
- 日本人を優先する市政
- 障害者の意見を聞く機会を増やしてほしい。
- 複数選択してありますが、成田市は住みやすい素敵な街だと思っています。
- 全ての相談にワンストップで対応できる窓口(重層的支援)
- 生活困難に陥ってる人を同じ地域の手が貸せる人に手伝って貰える制度が欲しい(ボランティアでは無く地域クーポンなどでの謝礼ありなど)
- 通学路の確保。自転車通学させるのが怖い。
- 障がい者の居場所もほしい。そして情報発信をしてほしい。
- 食育・予防について
- 現状がわからないので答えられません…もっとアピールしてください
- インターネット上でのサービスが進む中、うまく利用出来る人と出来ない人で情報格差が生まれていると思う。必要な人に必要なサービスが届くような体制を整えてほしい。
- 過疎地域の公共交通網
- 子供を育てやすい町成田市。真剣にかんがえて

- 窓口へ行けない人に対して、SNS などの回答や、例を上げるなど。
- お題目を並べても実際の活動や地域の関係が育たない環境を憂いている日頃の挨拶や子供への声掛けなど地道な行動をするしかない又若い人が参加する時、年寄りとして直ぐにアドバイスしたがる人が多く若い人の自主性を育てる想いが感じられないことが多い。地域活動のリーダーを集めて啓蒙する機会を作ったら??
- 防災放送が外でいつも聞き取れない。
- 誰もが平等に受けられるサービス
- 外国人の利用しやすい制度づくり
- 移動スーパーなどの年配が車を手放し易くする為の必要なものが毎週近くに来るとい生活用品の確保を考えて車に乗らせない状況を作ってあげる事
- 病児保育施設、特に発熱時及び発熱後時。
- 情報弱者に対する支援、タテ型行政の廃止、例えば子どもに関することは窓口を一つにするとか、
- 健康な体を維持するために、食事の重要性を訴えてほしい。健康な体は安全な食べ物によって作られることを、広く周知して体に害のある添加物などを取らないようにすべきだと思う。大人だけではなく、成長途中の子供たちに安全な食べ物を提供することに力を入れて欲しい。食べ物がどれほど大事なものを、大人や子供にも教育していく必要があると思います。

(まとめ)

この度はアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。

登録者の7割を超える方から回答をいただき、保健・福祉分野に対する関心の高さがうかがえました。

今回いただきました御意見や、関連事業のアンケート、今後行うパブリックコメント、保健福祉審議会の諮問等を活用しまして、総合保健福祉計画の見直しを行ってまいります。